

# 令和6年1月市長定例記者会見

日時：令和6年1月10日（水） 午前9時30分  
場所：掛川市役所5階 全員協議会室

## 1 開 会

## 2 市長話題提供

- (1) 能登半島地震への支援体制 【危機管理課】資料1-1
- (2) 令和6年 掛川市展望 【企画政策課】資料1-2
- (3) 「掛川城日本初本格木造天守閣開門30周年記念事業」ロゴマーク決定  
【文化・スポーツ振興課】資料1-3

## 3 情報提供

- (1) 2人目の地域おこし協力隊の委嘱 【広報・シティプロモーション課】資料2-1
- (2) 令和5年 火災・救急・救助統計 救急件数過去最多 【消防本部】資料2-2
- (3) 学校給食で有機農産物を提供 【お茶振興課 農林課 こども給食課】資料2-3

## 4 行事予定

- (1) 第11回 掛川市城下町駅伝競走大会 【文化・スポーツ振興課】資料3-1
- (2) 横須賀凧あげ祭り 【観光交流課】資料3-2

## 5 議会日程

全員協議会 令和6年1月19日（金）午前9時00分～

## 6 質疑応答（進行：幹事社 第一テレビ 静岡新聞）

## 7 閉 会

次回 定例市長記者会見 令和6年2月9日（金） 午前9時30分から 全員協議会室

## 掛川市 記者会見 資料 No 1 - 1

## 令和6年能登半島地震による被災地への支援体制について

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ 珍しい

## 【目的・概要】

令和6年1月1日に発生した石川県能登半島地方を震源とする地震による被災地への協力体制について報告します（1月9日現在）。

## 1 人的支援

## (1) 緊急消防援助隊

- 1月1日夜、緊急消防援助隊として、掛川市消防本部から、ポンプ隊5名と後方支援隊2名を派遣。石川県に向けて出発。
- 1月4日、第2次として7名を派遣し、第1次派遣隊と現地で交代。
- 1月7日、第3次として7名を派遣し、第2次派遣隊と現地で交代。
- 1月10日、第4次として7名を派遣し、第3次派遣隊と現地で交代。（予定）

## (2) 災害医療チーム

- 1月2日、中東遠総合医療センターDMAT隊（災害医療チーム4名）を石川県へ派遣し、1月5日まで間、活動を実施。
- 1月8日、第2次としてDMAT隊（災害医療チーム4名）を派遣。1月12日まで活動を予定。

## (3) 応援給水対応

- 日本水道協会静岡県支部の要請により、1月20日から1月27日まで2班体制で1.8トン給水車1台、職員計4名を石川県に派遣予定。

## (4) その他

- 住宅被害認定調査、罹災証明発行及び応急危険度判定士、下水道管渠調査、保健師等の派遣については、被災地及び国県等からの要請があれば対応できるよう準備している。

## 2 物的支援

## (1) 避難先住居

市営住宅を避難先住居として石川県に登録する。

## (2) 義援金募金箱の設置について

- 1月5日、義援金募金を開始 間 1/5(金)から当面の間  
・設置場所 本庁総合案内

- ・募金送金 大東支所 1 階市民窓口係カウンター、大須賀支所 1 階市民窓口係前  
募金の送金先は調整中
- ・所 管 課 危機管理課

(3) 日赤静岡県支部義援金箱の設置について

○1月5日、義援金募金を開始

- ・義援金名 令和6年能登半島地震災害義援金
- ・期 間 1/5(金)から12/27(金)
- ・設置場所 福祉課カウンター  
大東ふくしあカウンター、大須賀ふくしあカウンター
- ・所 管 課 福祉課

(4) 市備蓄品の支援について

○掛川市で備蓄している食糧・毛布・ブルーシートなどの物資を支援できる準備を整え、国・県の要請に基づき支援の予定。

(5) 支援物資の受入れ予定について

○支援物資の市民受付窓口については、国県、全国知事会及び県社協等からの要請に基づき開設の予定。

---

■本件に関する担当者 危機管理課 石山・桑田  
(電話 0537-21-1131)

★あなたの夢、★  
描いたつづきは  
★掛川で。★

## 令和6年 掛川市の展望

### 1 未来の担い手がチャレンジできるまちに（人の持続可能性）

少子化の進行とともに、地区集会等でも自治会活動、お祭り、自主防災などの担い手不足が深刻化

- ①持続可能な自治体運営のため、組織や活動内容の見直しを継続的にサポート
- ②若者が掛川のまちづくりの可能性を研究する「まちづくりラボ」を実施し、市民のまちづくり参加を後押し 高校生／市民チャレンジ事業について、10団体の参加が目標
- ③「原野谷学園新たな学校づくり検討委員会」において、市内最初の小中一貫校を整備 令和7年3月までに、学校づくりのコンセプトや設置場所を選定する

### 2 資源を燃やさないまちに（環境の持続可能性）

ごみ減量トップランナーの掛川市は、未来の世代により良い環境を残すために、さらなるごみ削減・資源化に取り組む

- ①使用済み紙おむつ、生ごみ、落ち葉・剪定枝の資源化検討 製品プラスチックの資源化については、令和7年度にモデル地区での実施 令和8年度開始を目指す
- ②新たな廃棄物処理施設 地元との連携を深め、令和12年4月の供用開始を目指す
- ③ごみ減量日本一の継続 毎月9日は「もったいないを考える日」
- ④オーガニックビレッジ宣言に基づき有機農業を推進し、生物多様性を守る農業へ

### 3 高齢化社会・多死社会でも安心して暮らせるまちに

高齢化が加速するなか、掛川市の死亡者数は、平成30年度の1,180人から令和4年度は2割増加して1,416人と過去最多を更新するなど、深刻な多死社会に突入

- ①空き家など負担となる不動産（負動産）とならないよう早期の対策を図る 耐震性がない空き家で解決すべき物件の約3割にあたる30件減少を目標
- ②「生涯お達者市民」を目指しつつ、もしものときの準備ができるよう、不動産編、遺贈寄附編も加えた掛川版エンディングノートを刷新
- ③交通弱者に対する移動支援施策を実施するとともに、持続可能な地域公共交通を目指して、新たなモビリティサービスを検討

#### ■本件に関する担当者

企画政策課市長政策室 戸田・松下（電話 0537-21-1128）

★あなたの夢、★  
描いたつづきは  
★掛川で。★

## 掛川城開門30周年記念ロゴマーク決定

市民みんなで、掛川城の「価値」を再確認・再発見し、その魅力を内外に発信し  
未来のまちづくりにつなげる

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ 珍しい

### 【概要・経過】

掛川城天守閣は、平成6年に日本で最初に本格木造で復元され、東海の名城としてよみがえりました。現在は、市のシンボル施設として市民だけでなく観光客などにも親しまれており、今年4月に、掛川城開門30周年を迎えます。

掛川市では、開門30周年を記念し、様々な事業を展開していきます。

これら事業の統一感及び開門30周年の機運醸成のためロゴマークを製作しました。

### 【アピールポイント】

・実行委員会で5つの候補を選定し市民投票により決定

#### 1 ロゴマーク

##### (1) 決定ロゴマーク



##### (2) ロゴマーク概要

###### ①意味

未来を感じられるデザインをコンセプトとしている。

30周年を意味する「30th」と「掛川城」を配置し、色は、お茶をイメージした「グリーン」と未来を感じさせる「ブルー」のグラデーションとしました。

## ②目的

掛川城開門 30 周年を広く PR することを目的とする。

## ③使用方法

- ・市の製作する様々な媒体へ印刷（広報紙 のぼり旗 等）
- ・記念事業のシンボルマークとして使用
- ・市民や市内の団体、企業にも活用していただく予定。

## (3) 選定方法

### ①候補作品選定






掛川城開門 30 周年記念事業実行委員会においてデザインについて協議し第 4 回実行委員会で候補作品を選定

### ②市民投票実施

市民による WEB 投票実施

実施期間 12/26～1/8

### ③投票結果

A	B	C	D	E
				
95 票 (17%)	170 票 (30%)	<b>219 票 (38%)</b>	67 票 (12%)	24 票 (4%)

・投票総数 575 票

## 2 30 周年記念事業スケジュール

### (1) スタートアップ期

- ①と き 令和 6 年 3 月 29 日（金）から令和 6 年 3 月 31 日（日）まで
- ②ところ 掛川城周辺施設、三の丸広場 など
- ③内 容 夜桜プロジェクションマッピング、祝祭パフォーマンス など

### (2) 機運醸成期

- ①と き 令和 6 年 4 月から令和 6 年 9 月下旬まで
- ②ところ 掛川城周辺
- ③内 容 掛川城下町フォトコンテスト など

### (3) イベント展開期

- ①と き 令和 6 年 10 月中旬から令和 6 年 11 月初旬まで
- ②ところ 掛川城周辺
- ③内 容 記念式典、パレード、大茶会 など

#### ■本件に関する担当者

文化・スポーツ振興課

文化政策係 西郷・石川（電話 0537-21-1126）

広報・シティプロモーション課

シティプロモーション・移住促進係 杉村・渥美（電話 0537-21-1209）

★あなたの夢、★  
描いたつづきは  
★掛川で。★

## 掛川市記者会見 資料 2-1

## 「2人目の地域おこし協力隊」の委嘱について

## 令和6年2月から南部地域を中心に活動

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・**珍しい**

## 【目的・概要】

掛川市では、2人目となる「地域おこし協力隊」を2月1日付けで委嘱します。「地域おこし協力隊」は、都市部の人材を最大3年間の任期で委嘱するもので、今回は市内南部地域を中心に、掛川市外からの異なる視点による新しい企画や情報発信を行い、地域に関わる関係人口の増加と地域活性化を目指します。

## 【アピールポイント】

- ・掛川市で2人目となる委嘱
- ・政令指定都市の浜松市より移住した男性への委嘱
- ・主要活動（ミッション）として、農業による販わい創出事業による南部地域の活性化や生産者と販売者を繋ぎ、農産物の販売活動ができるマーケティング人材の育成と仕組みづくりを実施
- ・スタートアップフェーズの経験を活かし、持続的な活動の礎となるプロジェクトの立案
- ・現隊員（任期令和6年7月31日まで）との協力体制を確保

1	と き	令和6年2月1日(木) 午前11時30分～正午
2	と ころ	掛川市役所 本庁5階応接室
3	主 催	掛川市 広報・シティプロモーション課
4	参 加 者	掛川市長、地域おこし協力隊員
5	内 容	掛川市地域おこし協力隊 委嘱式
6	そ の 他	特になし
7	駐 車 場	<b>有</b> ・無 掛川市役所駐車場



## 【地域おこし協力隊 プロフィール】

地域おこし協力隊 喜多村 純（きたむら じゅん）

1980年生まれ、静岡県袋井市出身。43歳。

父親が掛川市内に勤務していたこともあり、掛川市南部に足を運んでいる。大学卒業後は飲食店のプロモーション広告等に携わり、フリーランスとして記者活動を展開。地方創生に関わり、まちづくり、静岡県関係人口の創出、地域の拠点づくりで外から掛川市に関わった経験を活かし、『外と中、両方の目線』での持続的活動を経験。

## ■本件に関する担当者

広報・シティプロモーション課 杉村・渥美（電話 0537-21-1209）

掛川市記者会見 資料 2-2

## 令和5年 火災・救急・救助統計 救急件数過去最多

### 【目的・概要】

令和5年1月1日から12月31日までの掛川市で発生した災害件数を集計した火災・救急・救助統計の速報です。

配布資料内容

### 火災・救急・救助統計等



火災・救急・救助統計 QR コード

### 【アピールポイント】

・1年間に出勤した救急件数は、2年連続で過去最多を更新し、昨年より326件増加の4,744件となりました。熱中症、感染症関連の搬送事案が集中した8月の件数は1ヶ月499件を記録しました。

■本件に関する担当者

消防総務課警防救急係 花村（電話 0537-21-6102）

あなたの夢、  
描いたつづきは  
掛川で。



## 令和5年 火災・救急・救助統計(速報)

### 1 火災

1年間に発生した火災は35件（前年36件）で、昨年より1件の減少となりました。  
原因別にみると、「焚き火」によるものが13件と最も多く、放火については疑いを含め1件でした。  
また、火災による死者は1人、負傷者は2人となりました。

#### 【特徴】

火災種別は、建物火災が10件と、全体の約3割を占めております。  
原因別では、焚き火やたばこなど、半数以上が火の取扱いの不注意によるものです。

	年間件数	(原因) 焚き火	(原因) たばこ	(原因) 電気関係	(原因) 放火又は疑い
令和5年	35件	13件	3件	2件	1件

(過去の実績)

	年間件数	(原因) 焚き火	(原因) たばこ	(原因) 電気関係	(原因) 放火又は疑い
令和元年	44件	7件	1件	4件	10件
令和2年	24件	8件	1件	2件	0件
令和3年	28件	7件	2件	2件	3件
令和4年	36件	8件	1件	7件	4件

### 2 救急

1年間に出動した救急件数は、2年連続で過去最多を更新し、昨年より326件増加の4,744件（前年4,418件）となりました。また、高齢者の搬送割合は、全体の62.0%（前年64.3%）を占めております。

#### 【特徴】

新型コロナウイルス関連の搬送事案は減少し、熱中症、感染症関連の搬送事案が集中した8月は、一ヶ月499件となりました。また、一日の最多救急件数が31件を記録しました。

	年間件数	平均件数/日	(種別) 急病	(種別) 一般負傷	(年齢別) 高齢者
令和5年	4,744件	13件	3,279件	646件	2,535件

(過去の実績)

令和元年	4,145件	11件	2,845件	528件	2,189件
令和2年	3,629件	9.9件	2,412件	508件	1,913件
令和3年	3,793件	10.4件	2,562件	515件	2,068件
令和4年	4,418件	12件	3,003件	591件	2,350件

### 3 救助

1年間に出動した救助件数は53件（前年61件）でした。  
種別では、交通事故による出動が最も多く21件で、全体の4割を占めました。

#### 【特徴】

発生した種別の大半を占める交通事故は、道路の整備や車の充実した安全装備により、救助困難事例は少なくなってきました。その他の事故12件、建物等による事故11件、ガス酸欠事故3件、機械事故3件、水難事故3件が発生しました。

	年間件数	(種別) 交通事故	(種別) 水難事故	(種別) 自然災害風水害等	(種別) その他の事故
令和5年	53件	21件	3件	0件	12件

(過去の実績)

令和元年	38件	14件	2件	2件	12件
令和2年	56件	31件	3件	0件	14件
令和3年	54件	32件	3件	0件	9件
令和4年	61件	25件	1件	5件	12件

## 掛川市記者会見 資料 2-3

学校給食で有機農産物（オーガニック）を提供  
～給食を通じた有機農業に対する学習機会の創出～

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ 珍しい

## 【目的・概要】

掛川市では、昨年4月に「オーガニックビレッジ宣言」を行い、農業者だけでなく、加工、流通、小売店等の事業者や市民による地域ぐるみの取組で有機農業の拡大を目指しています。

この度、市内の小中学校の生徒に、有機農業に対する理解向上を図るため、学校給食で有機農産物（米・茶）を提供します。

有機農業で生産された農産物を選択することは、SDGs に繋がることを子供たちに伝え、将来の消費者教育に資することを期待しています。

## 【アピールポイント】

- ・学校給食への有機農産物（米・茶）は、掛川市で初の試みです。
- ・給食を通じ、子供たちへ有機農業の価値を伝えます。
- ・有機農産物を選択することはSDGsに繋がることの理解を深めます。

- 1 有機米の提供 有機米を学校給食の食材として別紙日程で提供
- 2 有機茶の提供 有機茶の一煎茶パックを市内の全小学生に提供  
(日程) 1月下旬から2月上旬に提供予定
- 3 取材について 上記1の日程のうち、取材を希望される場合は、下記、農林課へお問い合わせください。

## ■本件に関する担当者

有機農業に関すること 農林課 曾田・鈴木（電話 0537-21-1147）

お茶振興課 掛川・寺田（電話 0537-21-1216）

給食に関すること こども給食課 高塚・安間（電話 0537-25-6777）

★あなたの夢、★  
描いたつづきは  
★掛川で。★

【別紙】有機米提供日程

日 程	場 所	献 立
1月22日（月）	土方小、佐東小、中小、大坂小、 千浜小、大淵小、横須賀小、 城東中、大浜中、大須賀中 （みなみ学校給食センター）	ご飯、牛乳、オムレツ、 福神漬け和え、 チキンカレー
1月25日（木）	日坂小、東山口小、城北小、 第二小、中央小、曾我小、 西郷小、倉真小、三笠幼 （さかがわ学校給食センターB）	ご飯、牛乳、鶏肉の唐揚げ、 磯香和え、豚汁、 お米のムース
1月26日（金）	栄川中、東中、西中、桜が丘中、 原野谷中、北中、さかがわ幼 （給食文化苑こうようの丘）	ご飯、牛乳、揚げ餃子、 小松菜ともやしの和え物、し ぞーかおでん
1月30日（火）	西山口小、上内田小、第一小、 桜木小、和田岡小、原谷小、 原田小 （さかがわ学校給食センターA）	ご飯、牛乳、ぶりの照り焼き、 たくあん和え、 小笠まんてん味噌汁

## 掛川市記者会見 資料 3-1

## 第11回掛川市城下町駅伝競走大会開催！

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・珍しい

## 【目的・概要】

掛川市民及び周辺地域住民一人ひとりの心身両面の健康、陸上競技の競技力向上を目指すとともに、市民のスポーツへの関心を深め、スポーツによる明るく健康で活力あふれるまちづくりを実現することを目的に、第11回掛川市城下町駅伝競走大会を開催します。

- |   |       |  |
|---|-------|--|
| 1 | と き   | 令和6年1月28日(日)<br>開会式 午前8時05分～8時15分<br>スタート【小・中学生の部】午前9時00分<br>【高校・一般の部】午前10時00分<br>閉会式 午前11時30分(予定) |
| 2 | と ころ  | 掛川城三の丸広場(開・閉会式)・緑橋(スタート・ゴール)   |
| 3 | 主 催   | 掛川市城下町駅伝競走大会実行委員会  |
| 4 | 参 加 者 | 全258チーム<br>一般154チーム、高校生15チーム、小・中学生89チーム  |
| 5 | 内 容   | 掛川城下町を舞台に行われる駅伝大会<br>一般・高校の部4区間10.667km、小・中学生の部4区間7.736km  |
| 6 | そ の 他 | 雨天決行。雨天時の開・閉会式は第一小学校体育館で行います。  |
| 7 | 駐 車 場 | <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 大日本報徳社駐車場  |
| 8 | 資料の添付 | <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 (資料名) 大会要綱・コース図  |

## ■本件に関する担当者

文化・スポーツ振興課スポーツ振興係 片山・杉山

(電話 0537-21-1159)

★あなたの夢、★  
描いたつづきは  
★掛川で。★

# 第 11 回掛川市城下町駅伝競走大会 大会要項

- 主 旨  掛川市民及び周辺地域住民一人ひとりの心身両面の健康、陸上競技の競技力向上を目指すとともに、市民のスポーツへの関心を深め、スポーツによる明るく健康で活力あふれるまちづくりを実現する。
- 主 催  掛川市城下町駅伝競走大会実行委員会（掛川市 NPO 法人掛川市スポーツ協会）
- 後 援  静岡県 静岡県教育委員会（公財）静岡県スポーツ協会
- 協 賛  株式会社キャタラー 島田掛川信用金庫 株式会社トダックス かけがわ街づくり株式会社 中遠環境保全株式会社 中遠ガス株式会社
- 協 力  掛川市区長会連合会 掛川市交通指導員会 掛川市陸上競技協会 掛川市スポーツ推進委員会
- 開催日時  令和 6 年 1 月 28 日（日） ※雨天決行 予備日なし

7:20～8:00	8:05～8:15	9:00	10:00	11:30
集合・受付	開会式	小・中学生 スタート	一般・高校生 スタート	閉会式(予定)

※小・中学生は開会式を行わず、表彰式は、一般・高校生スタート後に行う。

- 会 場  開会式・閉会式：掛川城三の丸広場、コース：掛川城下町周回コース
- 交通規制  交通規制の時間は 8:30～11:30 となります。
- 申込方法  インターネットでお申込ください。詳細は「ランネット」で検索してください。
- (1) 本大会に参加する選手は、大会要項、競技規則、注意事項及び申込規約並びに個人情報の取り扱いについて同意の上お申し込みください。
- (2) 小学・中学・高校生チームは、選手とは別に成人代表者を 1 名、一般チームは選手の中から代表者を 1 名選任してください。
- (3) 一般の部には、高校生以下の方は出場できません。
- (4) 小学生の部には、4 年生から 6 年生の方が出場できます。
- (5) 参加チーム数は先着順で、一般 140 チーム、高校生 20 チーム、小・中学生 100 チーム。
- (6) 5 チーム以上の申込につきましては、窓口対応も可能ですのでお問合せください。
- 募集開始  令和 5 年 11 月 1 日（水）
- 申込締切  令和 5 年 12 月 25 日（月）締切前でも定員になり次第、締め切ります。
- 競技方法  ①大会要項及び 2023 年度日本陸上競技連盟競技規則及び駅伝競走基準に準拠する。  
（ただし、スタート合図は日本語で行う。）
- ②大会参加申込締切後の選手の区間変更は認めない。選手変更は補欠選手の中からのみ認める。
- ③傷害その他の事故については応急処置を除き一切の責任は負わない。
- ④ナンバーカード（ゼッケン）・タスキ（計測チップ装着）については、大会当日選手受付にて配布する。なお、タスキ（計測チップ装着）は大会終了後速やかに返却すること。
- ⑤一般・高校の部において 4 区中継所に 11:00 を過ぎて通過しないチームは繰り上げスタートを実施します。
- ⑥競技者が途中棄権する場合、速やかに近くの役員に途中棄権する旨を伝えること。その場合、チームの記録・順位・成績は無効となり、次走者はその区間の最終ランナーと同時にスタートすることができる。
- 事務局から  ①参加選手は健康診断を受けておくこと。体力・健康状態とも十分その区間を走ることが出来る者（注意事項）であること。
- ②事前説明等を行わないので、問い合わせは大会事務局まで連絡すること。
- ③開催に向けて様々な経費が発生しているため、申込後の参加料の返金はしない。
- ④ゴミ・空き缶等は、各チームで責任をもって持ち帰ること。
- ⑤競技中に走路内に最後尾車（自転車）が配置されるため、選手は注意すること。
- ⑥交通規制中の道路に車両で進入し人身事故を起こした場合、危険運転致死傷罪が適用されること  
があるため、競技中の走路の横断は、指定の横断歩道を利用し、係員の指示に従うこと。

## 【一般・高校生の部】

- ◆チーム編成 代表者（成人・兼選手可）1名 選手 6名（正選手 4名・補欠選手 2名以内）
- ◆種目・参加資格 <種目> <参加資格>
- ①一般男子の部 一般男子のみで編成
  - ②一般女子の部 一般女子のみで編成
  - ③一般男女混合の部 男女混合で編成（第1区・第4区は男性、第2区・第3区は女性）
  - ④高校生男子の部 高校男子のみで編成
  - ⑤高校生女子の部 高校女子のみで編成

※3名以下または1人が2回走ることは認めません。

※登録選手以外が走る場合または男女比率が異なる場合はオープン参加となります。その場合は、種目内順位や表彰からは除外となりますので、補員を含めてエントリーしてください。

※複数チームが補員を兼ねることは認めません。

### ◆コース（全4区間）掛川城下町周回コース（10.667km）

- 第1区 4.375km 緑橋→連雀西交差点(左折)→仁藤町交差点手前(折返)→連雀西交差点(左折)→紺屋町交差点手前(折返)→連雀西交差点(左折)→十王交差点手前(折返)→連雀西交差点(通過)→仁藤町交差点手前(折返)→連雀西交差点(左折)→紺屋町交差点手前(折返)→連雀西交差点(左折)→十王交差点手前(折返)→連雀西交差点(通過)→連雀交差点(中継点)
- 第2区 2.051km 連雀交差点(中継点)→仁藤町交差点手前(折返)→連雀西交差点(左折)→紺屋町交差点手前(折返)→連雀西交差点(左折)→十王交差点手前(折返)→連雀西交差点(通過)→連雀交差点(中継点)
- 第3区 2.051km 連雀交差点(中継点)→仁藤町交差点手前(折返)→連雀西交差点(左折)→紺屋町交差点手前(折返)→連雀西交差点(左折)→十王交差点手前(折返)→連雀西交差点(通過)→連雀交差点(中継点)
- 第4区 2.190km 連雀交差点(中継点)→仁藤町交差点手前(折返)→連雀西交差点(左折)→紺屋町交差点手前(折返)→連雀西交差点(左折)→十王交差点手前(折返)→連雀西交差点(左折)→緑橋

- ◆参加料 1チーム 一般 6,000円 高校 4,000円（傷害保険料込み）
- ◆表彰 （各種目）優勝：賞状、トロフィー、賞品 準優勝、第3位：賞状、賞品  
（区間賞）種目別1位：賞状、賞品
- ◆参加賞 申込者全員に参加賞、参加チームに記録証を1枚発行します。

## 【小・中学生の部】

- ◎チーム編成 代表者 1名 選手 6名（正選手 4名・補欠選手 2名以内）
- ◎種目・参加資格 <種目> <参加資格>
- ①小学生男子の部 小学男子のみで編成
  - ②小学生女子の部 小学女子のみで編成
  - ③中学生男子の部 中学男子のみで編成
  - ④中学生女子の部 中学女子のみで編成

※3名以下または1人が2回走ることは認めません。

※登録選手以外が走る場合はオープン参加となります。その場合は種目内順位や表彰からは除外となりますので、補員を含めてエントリーしてください。

※複数チームが補員を兼ねることは認めません。

### ◎コース（全4区間）掛川城下町周回コース（7.736km）

- 第1区 2.129km 緑橋→連雀西交差点(左折)→仁藤町交差点手前(折返)→連雀西交差点(通過)→十王交差点手前(折返)→連雀交差点(中継点)
- 第2区 1.856km 連雀交差点(中継点)→仁藤町交差点手前(折返)→連雀西交差点(通過)→十王交差点手前(折返)→連雀交差点(中継点)

第3区 1.856km 連雀交差点(中継点)→仁藤町交差点手前(折返)→連雀西交差点(通過)→十王交差点手前(折返)→連雀交差点(中継点)

第4区 1.895km 連雀交差点(中継点)→仁藤町交差点手前(折返)→連雀西交差点(通過)→十王交差点手前(折返)→連雀西交差点(左折)→緑橋

◎参加料 1チーム 3,000円(傷害保険料込み)

◎表彰 (各種目)優勝:賞状、トロフィー、賞品 準優勝・第3位:賞状、賞品  
(区間賞)種目別1位 賞状、賞品

◎参加賞 申込者全員に参加賞、参加チームに記録証を1枚発行します。

◎その他 ①主催者側でシャトルバスの運行はいたしませんので、お車でお越しの方は、近隣の駐車場をご利用下さい。  
②競技中のコースの横断は競技の妨げとなる事があり大変危険ですので、必ず横断歩道をご利用ください。  
③災害時等の中止の情報は掛川市ホームページ等でご案内します。

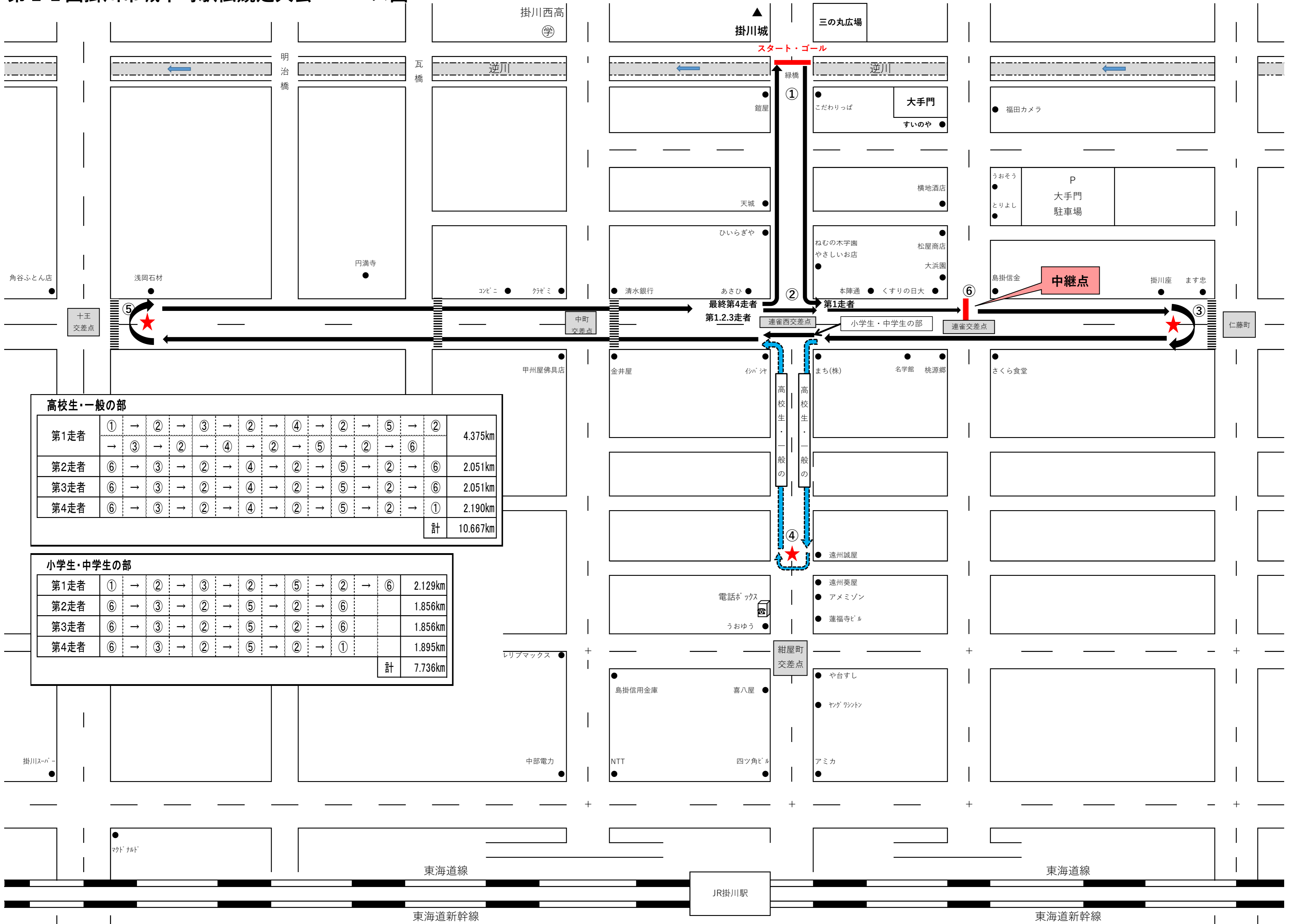
◎大会に関するお問い合わせ □ 掛川市城下町駅伝競走大会事務局(NPO法人掛川市スポーツ協会)

〒436-0043 掛川市大池2192

TEL(0537)24-9781 FAX(0537)24-9688 メール [info@kakegawa-sports.com](mailto:info@kakegawa-sports.com)

(問い合わせ)9:00~17:00 火曜定休日・12月28日~1月3日は休館

# 第11回掛川市城下町駅伝競走大会 コース図



### 高校生・一般の部

第1走者	①	→	②	→	③	→	②	→	④	→	②	→	⑤	→	②	4.375km
第2走者	⑥	→	③	→	②	→	④	→	②	→	⑤	→	②	→	⑥	2.051km
第3走者	⑥	→	③	→	②	→	④	→	②	→	⑤	→	②	→	⑥	2.051km
第4走者	⑥	→	③	→	②	→	④	→	②	→	⑤	→	②	→	①	2.190km
計																10.667km

### 小学生・中学生の部

第1走者	①	→	②	→	③	→	②	→	⑤	→	②	→	⑥	2.129km
第2走者	⑥	→	③	→	②	→	⑤	→	②	→	⑥	1.856km		
第3走者	⑥	→	③	→	②	→	⑤	→	②	→	⑥	1.856km		
第4走者	⑥	→	③	→	②	→	⑤	→	②	→	①	1.895km		
計													7.736km	



## 第36回遠州横須賀凧揚げまつり開催 全国の凧愛好家が自慢の凧で大空彩る

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・**珍しい**

### 【目的・概要】

1987年から続く、遠州横須賀凧揚げまつりが開催されます。

今回で36回目。掛川市内外の凧保存会、凧愛好家が一堂に会して凧を揚げることで、大須賀区域に伝わる伝統文化「横須賀凧」の保存・継承に寄与するとともに、「凧揚げ」への参加を通じて親子のふれあい、地域交流の場を提供し、地域活性化を図ります。

本事業を通じて各地に伝わる凧文化の保存に寄与し、全国的な地域間交流を促進します。

### 【アピールポイント】

- 今回で36回目。全国から毎年約20団体が参加し、自慢の凧で大空を彩ります。
- 子ども向けの凧作り教室が開催されます。(参加無料・先着100人)
- 横須賀凧の歴史は古く、戦国時代、武田方と徳川方による高天神合戦の際に、敵の陣地の測量や通信手段などに利用されたのが、その始まりといわれています。
- 横須賀凧の種類は多く、10種類以上にもなるといわれています。徳川方が武田勢をはさみ打ちにしている様子を表しているといわれる「巴」、武器の鉾に似せて作られたと言われ、縁起物ばかりが描かれた祝い凧として人気の「とんがり」、三河万歳の演者の姿を模したといわれる「べっかこう」などがあります。

1	と き	令和6年2月4日(日) 午前10時00分～午後2時00分
2	と ころ	遠州夢咲農協大須賀ライスセンター周辺(掛川市西大淵3301付近)
3	主 催	掛川観光協会大須賀支部(会長 内藤澄夫) 遠州横須賀凧巴会(会長 石川 昇)
4	内 容	・全国の凧愛好家による凧揚げの披露 ・子ども向けの凧作り教室(参加無料) ・地元特産品などの販売
7	駐 車 場	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 遠州夢咲農協大須賀ライスセンター内
8	資料の添付	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 (資料名) チラシ

### ■本件に関する担当者

観光交流課 観光交流係 勝部・神谷(電話 0537-21-1121)

★あなたの夢、★  
描いたつづきは  
★掛川で。★

第36回

遠州横須賀

令和6年

2/4 (日)

# まじり 凧揚げ



横須賀凧をはじめ、  
県内外の自慢の凧が大空を舞う

掛川市横須賀地区 国道150号線沿い  
イオンタウン大須賀東側

主催/掛川観光協会大須賀支部、遠州横須賀凧巴会  
後援/遠州夢咲農業協同組合、三熊野ファーム、掛川みなみ商工会、イオンタウン大須賀、掛川市、掛川市教育委員会  
協力/遠州横須賀倶楽部、駿河の凧の会、遠州横須賀凧松尾会、中部電力パワーグリッド㈱掛川営業所、  
丸横運送株式会社、掛川茶業振興協会  
問合せ/掛川南部観光案内処(プラザ大須賀) ☎ 0537-48-0190